

各位

積水ハウス株式会社

**建築物省エネ基準に基づくエネルギー消費量の計算不備について
(対応経過のご報告)**

弊社は、2021年8月6日付にて、弊社ホームページ上で「建築物省エネ基準に基づくエネルギー消費量の計算不備について」を公表いたしました。本件は、建築物省エネ基準に基づくエネルギー消費性能計算プログラム※1へのデータ入力の前段階で、弊社のオリジナルシステム「グリーンファーストゼロ判定ツール」を運用していましたが、特定の太陽光パネルの性能に係る条件設定の不備により、戸建て住宅のエネルギー消費量計算を誤っていたことが、社内調査により判明したというものであります。

当該公表時においては、本社担当部署による再計算の結果、33件がZEH基準※2に達しておらず、その内の6件がZEH補助金（環境省5件、資源エネルギー庁1件）の対象物件であると判断いたしておりました。

これらZEH基準未達の物件については、物件毎に詳細な設備仕様等の情報を入手し、当該お客様に対して、可及的速やかにご連絡申し上げ、謝罪の上、ZEH基準に適合するための是正工事（例：給湯エネルギー消費量を抑制する節湯型水栓への交換工事等）の提案を個別に進めております。

つきましては、本件対応の進捗状況を以下のとおりご報告申し上げます。

お客様をはじめ関係者の皆様には多大なるご心配とご迷惑をお掛けしたことを、深くお詫び申し上げます。

■個別対応の進捗状況（2022年3月25日現在）

	再計算でも基準に未達の件数	左記の内、補助金対象件数
2021年8月公表時	33件	6件
新たに是正不要が判明した物件 (注1)	10件	3件
是正工事対象件数（更新）	23件	3件
是正工事完了	16件	3件
是正工事未了	7件	0件

(注1) 新たに是正不要な物件が判明した経緯

- 8月公表時点では、本社担当部署による設計図書をもとにした再計算の結果として、33件のZEH基準未達物件があるものと判断いたしておりました。その後、担当支店を交えて個別に詳細仕様を確認したところ、太陽光パネル等の主要な設備を備えることで明らかにZEH基準に達した場合には、節湯水栓・調光照明等の省エネ機能を向上させる機能の一部を計算条件に加えないという運用（いわゆる「不利側評価」）が確認されました。よって、これらの条件を加味して再計算したところ、8月公表時点の33件中10件のZEH基準達成が判明したものです。
- これにより、是正工事を要するZEH補助金対象物件は、環境省3件、資源エネルギー庁0件となりました。なお、環境省の3件につきましては令和4年1月にBELS評価・是正工事のいずれも完了いたしました。

※1 [住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム](#)（国立研究開発法人建築研究所等）

※2 Net Zero Energy House の略称。外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅。WEBプログラムを用いて1棟ごとに定められた基準を満たすことを確認することが求められます。